

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第38回 蜂が好き!?

昆虫採集を楽しむ人たちの中には、特に「ハチ」が好きだという方達があります。

ハチだけを採集しているわけじゃないのだそうだけど、身近な虫としてハチの生態観察や写真撮影をしているのだそうです。

ハチに刺されれば命を落とす方もいるくらい、怖い怖いハチなのに…である。

そんなハチを知る事に自覚め、昆虫学を勉強し、ハチの専門家になって活躍している先生もいます。

ハチが刺す時に使う「毒針」は産卵管が変化したものなのでメスだけが持ち、オスには無いので当然オスバチは刺しません。ハチの仲間は2対(4枚)の翅を持っています。(アブは2枚)子育て・社会生活・狩り・寄生など、昆虫の中でも生活の仕方が多様なのが特徴です。

幼虫の時に植物食のキバチ・ハバチ・タマバチの仲間、

動物に寄生するコバチ・ヒメバチ・セイボウの仲間、

花の蜜や花粉を食べるミツバチなどハナバチの仲間、

狩りをして暮らすドロバチ・アリバチ・クモバチなどの仲間。

その中でもスズメバチ類は「社会性狩蜂」と呼ばれています。

このように、ハチの中でもさらにグループに分けが出来、アリも「社会性狩蜂」の仲間なのです。

現在、昆虫の中で最も種類の多いグループは「甲虫(カブトムシなど)」で、次に「チョウ」→「ハエ」→「ハチ」の順ですが、調べが進むと「甲虫」の次が「ハチ」になるかもしれない。と考えられるくらい、ハチの種類が発見されているそうです。

それぞれのハチの特性を知ると、ハナバチを利用してハチミツを採ったり、寄生バチを利用して野菜作りの害虫を退治したり…と人間の生活にも大きく役立てる事ができます。

それでもやはり、「怒ったら怖い蜂」に変わりはないので、採集や観察には十分な注意が必要ですよ。

向島の豊かな自然の中に、どれほどの種類のハチが飛んでいるのやら…また、虫全体を考えれば、いったいどれくらいの種類の虫たちが暮らしているのでしょうか？

※スズメバチ類など攻撃性の強いハチから身を守るため、

- ①むやみにハチに近づかない(特に巣のある場所は危険)、②ハチを刺激しない、③野外での活動は肌を露出した服装は避ける、など普段から気を付けたうえで、ハチが活発な時期の野外活動は特に注意してください。

花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ~

つるかめクラブ